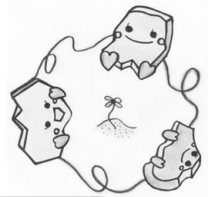


東北復興 PSW にゆうす

2015年6月25~27日の3日間、第51回（公社）日本精神保健福祉士協会全国大会・第14回日本精神保健福祉士学会が福島県郡山市にて開催されました。当初は2012年に開催を予定していたのですが、震災による延期を経ての悲願の開催となりました。今回は全国大会・学術集会中に開催された物販の様子を中心にお届けします。



「全国からのお心寄せ、ありがとうございます」 福井康江（東日本大震災復興支援委員会委員長：岩手県支部）

福島での全国大会では、被災地事業所の物品販売にお立ち寄りいただきありがとうございました。遠方から販売協力をいただきました皆様、心より感謝申し上げます。また、大会運営委員会の皆様、今回「よってがんしょ市」を開催いただきありがとうございました。「市」に参加いただきました事業所の方々から、「岩手、宮城から来てくれてありがとう」という温かい言葉を沢山いただき、感激に堪えませんでした。物販に、今年は新たに釜石の事業所「かだっぺし」からの参加をいただき、また一つ縁を広げることができました。「かだっぺし」の鈴木さんから大漁旗のご協力があり、皆大いに元気をいただきました。釜石はご存じの通り橋野鉄鉱山・高炉跡が世界遺産となり、またラグビーのワールドカップ開催地ともなり、正に釜石らしい復興の姿に何とも言えない喜びを感じています。SWにおいて、その人らしさへの支援といわれていますが、その土地らしい復興の在り様がやはり望まれることを実感しました。東北被災地の各事業所の方々が、その土地土地に生きるモノや工夫、思考を取り込み作り上げた商品を、可能な限り今後も皆様に届けてゆきたいと思っています。これからも皆様の「応援」をどうかよろしく願いいたします。

「よってがんしょ市を開催して」 秋山康幸（針生ヶ丘病院：福島県支部）

第51回全国大会に併せて開催した「よってがんしょ市」は、延べ2,750名の方にご来場いただき、盛会のうちに終了することができました。ご来場された皆様にはこの場をお借りして感謝申し上げるとともに、「よってがんしょ市」について少し書かせていただきたいと思います。

震災後、福島県の医療機関は、当事者が治療を受ける場を確保するために、大変な日々を送ってきました。一方、福祉事業所においては、活動場所の変更を余儀なくされた事業所、風評被害を受けた事業所があり、様々な形で福島県の医療と福祉は影響を受けてきました。

震災から4年が経過した今年の福島大会にあたり、私は東北の元気を全国にPRしたいという思いがありました。地元である福島県はもちろんのこと、甚大な被害を受けた宮城県、岩手県の皆様と共に、復興へ歩む東北の姿を伝えたい思いと、震災・復興というキーワードだけではなく、明るく楽しい雰囲気でご来場された皆様をお迎えしたい思いで、準備を進めてきました。おかげさまで福島県内中心に44事業所の御協力と、復興支援委員会の御協力をいただき、開催する事ができました。

福島県の事業所ブースでは、真心こめた自慢の品を販売し、来場者から御好評をいただきました。復興支援委員会のブースにおいては、今大会用オリジナルTシャツを着た皆様のパワーで、「よってがんしょ市」を盛り上げていただきました。大漁旗を掲げて販売する姿を今も鮮明に覚えています。

こうして振り返ってみますと、来場された皆様に東北の元気をお伝えできたのではないかと思います。皆様いかがでしたでしょうか。

結びになりますが、「よってがんしょ市」にご来場された皆様、開催にあたり御協力いただいたすべての皆様に感謝申し上げますとともに、今後も東北に関心を寄せていただきますようお願い申し上げます。

今回はいままでと少し趣向を変え、物販の様子を写真を中心にをご紹介します



事業所から届いた商品を一つ一つ確認します。



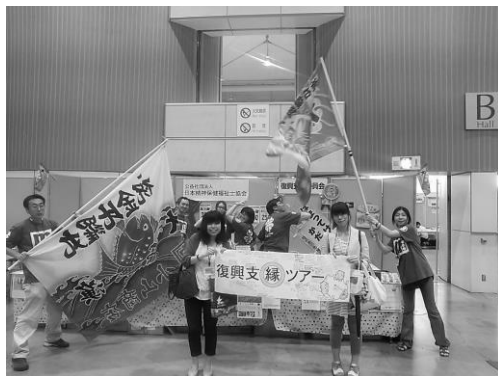
物販会場はこれまでの全国大会史上最大規模(^o^)/ 多くの人で賑わいました。味噌パン、クッキー、缶バッチなど今回委員会で販売した商品は7事業所、計35品に上りました。



「語りながら売る」がモットー。



大漁旗を振って皆さんをお出迎え。インパクト大でした。



売れ行きは好調。完売商品も多数出ました。



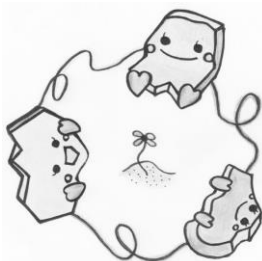
復興支縁ツアーinいわての参加者も立ち寄ってくれました。

物販参加者より

皆さんとの縁を大切にしていきたいと思います。

これからも自身でできること、仲間とできること、いろいろと模索していければと思っています。

日替わりで多くのボランティアにもご協力いただきました。



これまでの支援に感謝！これからもよろしくお願いします。

「来年度の物販ボランティアへのお誘い」
埼玉大会に引き続いて、福島大会で被災地事業所の物販をお手伝いさせていただきました。お店にかかわっていると全国の構成員の皆さまとの出会いや再会があり、とても楽しいです。売る人も買う人もみんな笑顔。山口大会でも開店する予定です。よかったらお立ち寄りください。

被災地における障害福祉事業所の販路拡大支援について

東日本大震災より4年半が経過しました。東北地方を中心として、復興状況はまだ道半ばな状況と言えます。物販をしている障害福祉サービス事業所の販路拡大も、この状況に比例して困難を抱えているところもあるかと思えます。つきましては、本協会 WEB サイトにおいて、障害福祉サービス事業所の活用をPRするとともに、希望する事業所の WEB サイトのリンクを貼る販路拡大支援のご提案をさせていただきます。本協会の活動を通じて、皆さまの事業所のさらなる復興へ寄与できれば幸いです。詳しくは日本精神保健福祉士協会 WEB サイト（下記 URL）をご覧ください。

☆皆さんからのメッセージを募集します☆ 本紙では被災した各地の仲間へのメッセージ及び被災地からの情報発信など、相互交流ができる紙面づくりを目指しております。全国どなたからのメッセージでも構いません。それぞれのお立場からの声をお聞かせください。本紙へのご意見・ご感想も大歓迎です。本紙面や協会ホームページにてご紹介させていただきます（原則として投稿者氏名以外の個人情報掲載いたしません）。お届け先は東日本大震災復興支援委員会への FAX もしくは E-mail にてお願いいたします。

E-mail: office@japsw.or.jp * 題名に「PSW にゆうすについて」とご記入をお願いします。

第18号 2015年9月15日発行

発行：公益社団法人 日本精神保健福祉士協会 東日本大震災復興支援委員会

〒160-0015 東京都新宿区大京町 23-3 四谷オーキッドビル 7F TEL.03-5366-3152 FAX.03-5366-2993

URL: http://www.japsw.or.jp/